

令和三年十月二十九日 代神誕生記念祭

神 示

使者供丸齋の人生を支えた心は 和魂わこんの精神

今今日 世界は 精神世界の真実に気付き

「神」に心精神預けて「生きる」不思議を求め

知識 努力の及ばない精神世界 それが和魂 「神の道」

使者供丸齋は 自らの体験を通し

その真実世界に気付き 「悟り」を深めた存在お方

信者に申す

「教え」を学び

今今日の世界の姿 社会の現実を 「真理」で読み取る人人間であれ

虚実に染まる世界の姿が見えて

人間は 「道」の真理に生きる価値が分かる

和魂精神の心を求め 「神」に「人生」全てを預けて

「道」の真理を探究され 今は神代神

その救世の歩みに気付きを得て 「教え」に生きる人人間を目指せよ

自然と「生きる」気持ちに 勇気と自信が持てる

不思議を体験できる

世界は 神の手の中 時代運命の力を受けて大きく変わる

—— 世界のあるべき真実は

互いの運命を重ね 支え 補い合って

調和する姿にある ——

この一言いちごんに気付きを得て 「道」の真理に生きるべし